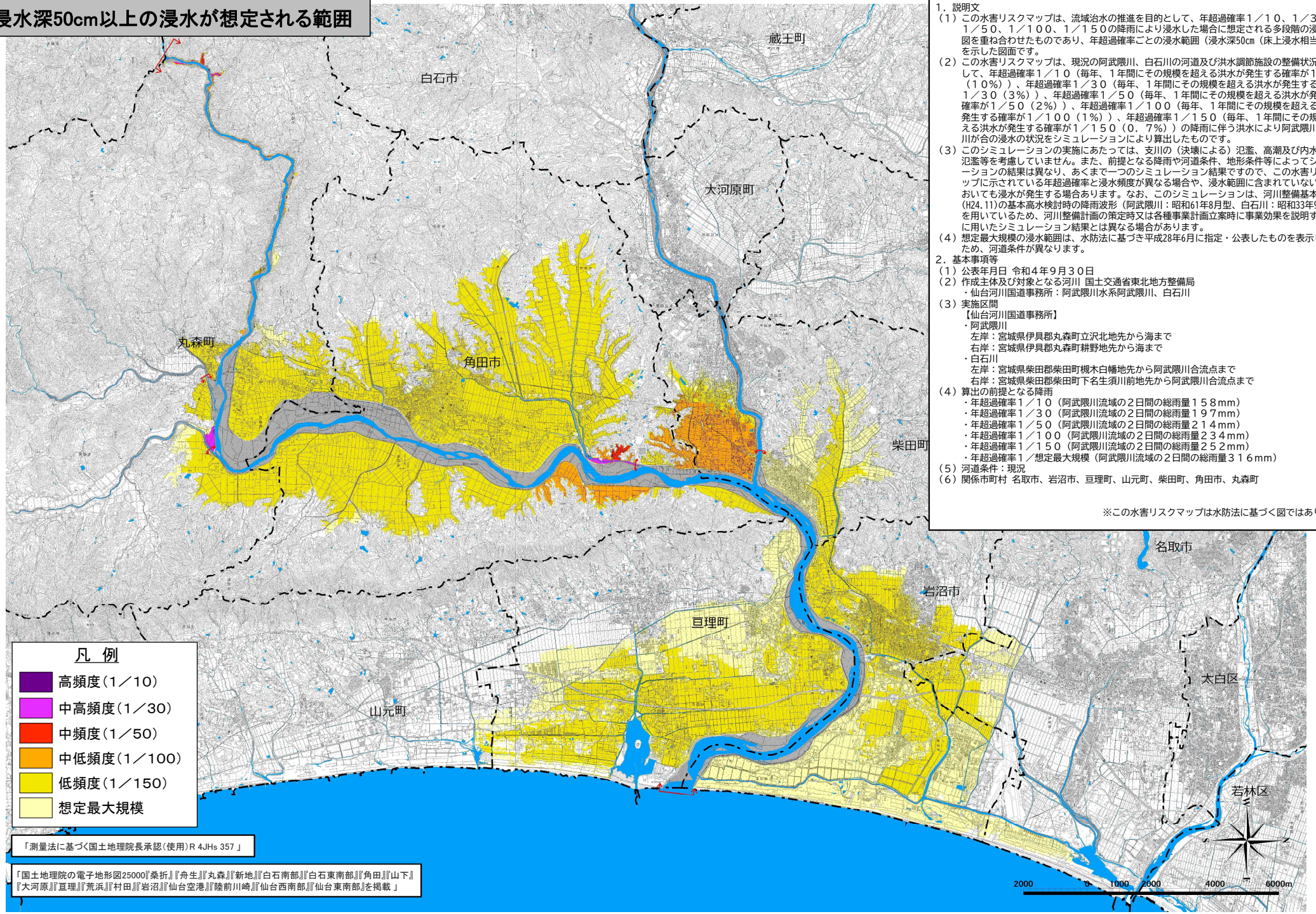
阿武隈川水系（宮城県側）水害リスクマップ【現況（浸水深50cm以上の範囲）】

浸水深50cm以上の浸水が想定される範囲



「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 4JHs 357 」

「国土地理院の電子地形図25000『桑折』『舟生』『丸森』『新地』『白石南部』『白石東南部』『角田』『山下』『大河原』『亘理』『荒浜』『村田』『岩沼』『仙台空港』『陸前川崎』『仙台西南部』『仙台東南部』を掲載 」

1．説明文

（1）この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率１／１０、１／３０、１／５０、１／１００、１／１５０の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水深50cm（床上浸水相当）以上）を示した図面です。

（2）この水害リスクマップは、現況の阿武隈川、白石川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率１／１０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１０（１０%））、年超過確率１／３０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／３０（３%））、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／５０（２%））、年超過確率１／１００（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１００（１%））、年超過確率１／１５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１５０（０．７%））の降雨に伴う洪水により阿武隈川、白石川が合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（3）このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合あります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針（H24.11）の基本高水検討時の降雨波形（阿武隈川：昭和61年8月型、白石川：昭和33年9月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

（4）想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年6月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2．基本事項等

（1）公表年月日 令和４年９月３０日

（2）作成主体及び対象となる河川 国土交通省東北地方整備局
・仙台河川国道事務所：阿武隈川水系阿武隈川、白石川

（3）実施区間
【仙台河川国道事務所】
・阿武隈川
左岸：宮城県伊具郡丸森町立沢北地先から海まで
右岸：宮城県伊具郡丸森町耕野地先から海まで
・白石川
左岸：宮城県柴田郡柴田町槻木白幡地先から阿武隈川合流点まで
右岸：宮城県柴田郡柴田町下名生須川前地先から阿武隈川合流点まで

（4）算出の前提となる降雨
・年超過確率１／１０（阿武隈川流域の２日間の総雨量１５８mm）
・年超過確率１／３０（阿武隈川流域の２日間の総雨量１９７mm）
・年超過確率１／５０（阿武隈川流域の２日間の総雨量２１４mm）
・年超過確率１／１００（阿武隈川流域の２日間の総雨量２３４mm）
・年超過確率１／１５０（阿武隈川流域の２日間の総雨量２５２mm）
・年超過確率１／想定最大規模（阿武隈川流域の２日間の総雨量３１６mm）

（5）河道条件：現況

（6）関係市町村 名取市、岩沼市、亘理町、山元町、柴田町、角田市、丸森町

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。